

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	(1) 仮名遣いや助詞、句読点など、基礎的な読み書きの個人差が大きい。繰り返し丁寧に指導し確実に身に付けさせる必要がある。 (2) 話したい事柄を選んで話すことはできるが、書くことが苦手の児童が多い。伝えたいことを明確にする方法、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える方法を指導する必要がある。 (3) 進んで読書に親しむ児童が少ない。図書の時間に選書ができない児童もいるので読書に親しむ指導の工夫が必要である。	(1) 拗音や長音、促音等の仮名遣いや、助詞の使い方のプリントを授業や宿題で繰り返し取り組ませ、基礎的な読み書きを確実に身に付けさせる。 (2) 一番伝えたいことは何かを明確にしてから書くことを習慣付ける。また、事柄の順序に沿って構成を考えるため、メモを活用する方法を指導する。 (3) 読み聞かせ、教材や季節に合った本の紹介を行い、読書への興味を広げる。	
算数	(1) 数の概念とその表し方や簡単な計算問題については理解しているが、問題場面の数量の関係について理解して立式することについて課題がある。 (2) 量感に対する生活体験が少なく、量の大きさの比べ方について考えることや、ものの形の特徴を捉えることが難しい。 (3) 算数を好む児童は多いが、児童各々の理解度に差がある。	(1) I C T機器を活用し、数の大きさや数のまとまりに着目させて、その意味や表し方についての経験を積ませる。 (2) I C T機器を活用する。簡単な絵や図などに表すことによって、問題場面を想起させ、正しく立式できるように指導する。 (3) 習熟度別少人数指導を通して、児童の理解度を基に、学習できるようにする。	
生活	(1) 生命を尊重する気持ちや植物に対する興味・関心が高い。 (2) 植物にある固有の特徴を絵や文章で表すことができない児童がいるため、工夫して指導する必要がある。 (3) 身近な人々が自分の生活と関わっていることや、自分が身近な人々に支えられていることに気付いていない児童が多くいるため、気付くことができる指導を行う必要がある。	(1) 植物を観察するポイントを提示し、その特徴に気付くことができるようにする。 (2) よく書けている児童の観察カードを見る機会を作り、児童がより植物の特徴や変化に気付いて自分で表現することができるように指導する。 (3) 身近な人々との関わりや交流を全体で振り返り、手紙や絵日記等で表現することにより、支えられていることに気付かせ、自ら働きかけようとする気持ちを育てる。	
	(1) けんぱんハーモニカについては、姿勢、楽器の手入れ方法、正しい指づかいを引き続き指導する必要がある。	(1) 指づかいが正確にできるように繰り返し指導し、家庭の協力も得ながら、実際に音を出して練習できるようにする。	

音楽	(2) 曲や演奏の楽しさを見付けられるようになってきているが、実際の音を出しての表現はできていない。 (3) 素直で集中して学習に取り組める児童が多い。基本的なルールを守れない児童が少しいる。	(2) いろいろな表現方法を試し感じたことや気付いたことを全体で共有することで、表現を工夫する楽しさを味わえるようにする。 (3) けんぱんハーモニカ以外の楽器についても、全体で学習のルールを共有し、守れるようにする。	
図画工作	(1) はさみやのりを使った基本的な技能が身に付いていない児童が多い。 (2) 図画工作科の学習を楽しみにしている児童は多いが、自分の思いを表現するための手だてが思い浮かばない児童がいる。 (3) 自分の作業に集中して取り組んでいるが、周りの友達の作品にまで関心がいかない。	(1) 他教科も併せて、はさみやのりを使う機会をもつ。 (2) 紙コップや菓子箱のような身近で扱いやすいものや砂など手や体全体の感覚を働かせる材料を使い、つくりたい気持ちをもちさせる。 (3) お互いの作品を鑑賞する活動を通して、自分の見方や感じ方を広げさせる。	
体育	(1) 各種の運動遊びの経験が少ないため、その行い方を十分にわかっていない。 (2) 各種の運動遊びの経験が少ないため、工夫することまではできていない。また、自分が考えたことを分かりやすく友達に伝えることはまだできていない。 (3) 多くの児童は、きまりを守って運動に進んで取り組むことができる。それをどう持続させていくかが課題である。	(1) 学習カードを活用し、運動遊びの行い方を視覚的に分かりやすく伝える。 (2) 教師が運動遊びの工夫例をやって見せたり、友達の工夫を紹介したりする。言葉だけで伝えるのではなく、実際に運動しているところを見せて分かりやすく伝える。 (3) 毎時間のめあての提示や「やってみよう。」と思える場の設定を工夫し、意欲を高めていく。	